



郡内織物が素材に決まりがないのはどんな素材でも美しく織り上げる技術があったからなのです。

甲斐絹のわざ

郡内織物はこうした手仕事を引き継いだ伝統技術です。繊細な絹糸を扱う丁寧な仕事ぶりは素材を選ばず上質な織物をつくりだす高度な技術になりました。郡内織物が素材に決まりがないのはどんな素材でも美しく織り上げるにはたくさんさんの手間暇がかかります。

素材を選ばない

なめらかな肌触り、先染め織物特有のプリントとは違う風合いが甲斐絹の特徴です。主に裏地として使われましたが高級織物として認められる上質でした。職人はこの質感を引き出すために絹糸を撚らずに織ります。撚りがないのでちぎれやすく、絹糸のなかでも細くて扱いづらい素材を織り上げるにはたくさんさんの手間暇がかかります。

郡内織物のルーツ

郡内織物は山梨県の郡内地方で織られる質のいい織物のことです。素材にも織りかたにも決まりはありません。共通しているのは高い技術力です。そのルーツは江戸時代に人気のあった甲斐絹にありました。

カシミアにも使える HOW TO USE



STOLE

絹素材を中心としたストールを生産。繊細な絹糸を扱えるのは、長年織物産業が続いたこの土地ならではの。糸の細かな調整で様々な風合いを表現する。肌触りもよく、ふだんの服装も上質な雰囲気を出せる。



ZABUTON

山梨県の座布団生産の約8割以上が大月市が担っている。繊細な模様を表現できるので細やかな和柄の座布団の生産が多い。衣装は座布団生地を再利用して製作したもの。



TIE

山梨県のネクタイ生産量は日本一。大月市もまたその一端を担っている。フォーマルな場で利用できるオーソドックスな縞模様から、女性でも利用できそうなドット柄など豊富なデザインを取り揃える。

